

# 保健体育科 学習指導案

日時・場所：平成17年10月4日(火) 5校時 体育館

学 級：3年女子(1組15名 2組14名 ずずかけ学級1名 計30名)

指 導 者：教諭 鍛冶屋敷 容子

## 1 単元名 球技(バレーボール)

## 2 単元について

### (1) 教材観

バレーボールは、ボールを媒体として、集団対集団での攻防を繰り返しながら、点を取り合って勝敗を競い合うことが楽しい運動である。また、生徒一人ひとりがそれぞれのよさを生かして互いに教え合ったり、支え合ったりしながら自発的・自主的に学習を進めることができ、技能や体力に応じたゲームを工夫することで、楽しさや喜びを味わうことができる運動である。さらに、チームの課題を解決していく過程で、生徒同士の人間関係を良好にし、より大きな楽しさや喜びを味わわせることのできる教材である。

### (2) 生徒観

全体的に明るい雰囲気での活動をする。しかし、積極的な生徒と消極的な生徒があり、その差がはっきりとしている。消極的な生徒の多くは、苦手意識を持っており、特に集団的スポーツでは、黙って、立っているだけの場面も見られる。

学習に対する工夫や学習計画は個人や班で、それぞれの実態に応じほぼ適切に行なわれている。レシーブやブロックなどの防御は、特にアンダーハンドレシーブのボールコントロールが悪く、ラリーも続かないことが多い。ゲームで自分の力を発揮しているかという面では、ボールがどこに来るかを予測できないため、自分の力を発揮できないことが多いと言える。

班や全体の中で自分の意見をはっきりとすることができるかという面では、班長や教科リーダーは比較的是っきり言うことはできるが、大半の生徒が、まだまだ消極的である。

知識・理解の面では、ルールを理解しているかや、安全に運動することやパスやスパイク、サーブなどの技能については、ほぼ理解できている。

### (3) 指導観

バレーボールの学習においては、自ら課題を設定し、その課題を解決するために自ら考えたり判断したりすることを重視する課題解決型の学習を積極的に取り入れ、チームや自己の課題を見つけ、それを解決する学習活動を展開できるようにする必要がある。

そのためには、チームや個々が、適切な課題を設定できるようにするとともに、生徒自身が学習計画や主体的に考え行動できる学習内容・方法、及び学習の場の工夫をしたり、それに即したゲームや練習の行い方や仕方が工夫できるようにすることが大切である。

また、ゲームにおいては、チーム相互で力にふさわしいルールを工夫したり、相手チームに応じた作戦を立てたりして勝敗を競い合うことができるようにするとともに、ゲームの経過や結果の楽しさや喜びを味わうことができるようにすることが大切である。

生徒は、自ら課題を設定したことから、その課題の結果を意欲的に話し合うという表現方法で、達成感を持つことができると考える。また、課題を設定する過程で、いろいろな意見を述べるという表現方法をとったり、ゲームでは、互いに声を掛け合ったり、点数が決まったとき、ハイタッチや歓声で自己表現することで、表現力を育てていきたい。

### 3 単元の目標

- [ 関心・意欲・態度 ] 意欲的に学習を進めているか。仲間と互いに助言し合っているか。
- [ 思考・判断 ] 自分に適した課題がもてているか。学習を工夫して取り組んでいるか。学習計画がうまく立てられているか。
- [ 技能 ] サーブやスパイクなどの攻撃がうまくできているか。レシーブやブロックなどの防御がうまくできているか。ゲームで自分の力を発揮しているか。
- [ 知識・理解 ] ルールを理解しているか。安全に留意して運動することが理解できているか。パスやスパイク、サーブなどの技能の特性が理解できているか。

### 4 単元の指導計画と評価規準

時間	指導目標	評価規準			
		関心・意欲・態度	思考・判断	技能	知識・理解
1	オリエンテーション、試しのゲームをする。	球技の特性に関心を持つ。	自分に適した課題を持つ。	ゲームで自分の力を発揮している。	安全に運動することが理解できる。
2	パスやサーブなどの基本的な技能を身につける。	意欲的に学習を進めている。	自分に適した課題が持てる。	サーブやスパイクなどの攻撃がうまくできている。	サーブやスパイクなどの技能が理解できている。
3	チームで協力して練習し、基本的な技能を用いてゲームを楽しむ。	いろいろなゲームを工夫できるようにする。	新たな課題を設定できるようにする。	言葉掛けや確認を具体的に行う。	ルールを理解している。
4	資料を参考にチームで集団的スキルを練習する。	技能の取得に向けて具体的な言葉掛けや確認を行う。	学習を工夫して取り組んでいる。	よいプレーは誉め合ったり、互いにアドバイスし合う。	個人的技能と集団的スキルの基本について知る。
5	ルールや人数を工夫した、いろいろなゲームをする。	ルールや作戦に応じて勝敗を競い合う球技の楽しさを味わおうとする。	今、持っている自分の力を知る。	今、持っている技能を發揮してゲームを行うことができる。	ルールを理解しているか。
6	資料を参考に自ら学習計画を立てる。	仲間と互いに助言し合っている。		ゲームに生かすポジションを考えながら練習を工夫できるようにする。	個人的技能と集団的スキルの基本や応用について知る。
7	攻防の作戦や相手チームの力に応じた練習を工夫する。	チームにおける自分の役割を自覚して、責任を果たしたり、教え合ったりして互いに協力しながら、進んで練習やゲームをしようとする。	今、もっている自分(自分のチーム)や相手(相手のチーム)の技能の程度などを的確に把握し、それに応じた作戦を立てている。	チームや自分の能力に適した課題の練習やゲームを通して集団的スキルを高めることができる。	選択した種目の特性や学習の進め方、集団的技術や個人的な技術の構造、合理的な練習の仕方、練習計画の立て方を知っている。

8	資料を参考にチームで、ポジションを意識しながらチームで練習する。	よいプレーは、誉め合い、互いにアドバイスしあってどんな練習がゲームに役立つか考える。	ゲームに生かすポジションを考えながら練習を工夫できるようにする。	課題の解決に向け、具体的な言葉かけや確認を行う。	競技の運営やルール、審判の方法を知っている。
9	高まったチームや自分の力に応じて、相手チームと勝敗を競い合う。	仲間と互いに助言し合っている。	ラリーの仕方や攻防の作戦を工夫する。	相手チームに対応した作戦を立てることができる。	公正で安全なゲーム、審判の方法を知っている。
10 本 時	習熟した技能や態度の高まりに応じて、攻防の作戦を工夫して、ラリーが続く楽しさを味わう。	施設・設備の安全や用具の管理をする、危険なプレーをしないで練習やゲームをするなど、健康・安全に留意しようとする。	ゲームを通して、チームや自分の課題を明らかにし、その課題の解決の仕方を選んでいる。	課題の解決に向け、具体的な言葉かけや確認を行う。	安全に運動することが理解できているか。

## 5. 本時の指導

### (1) 目標

習熟した技能や態度の高まりに応じて、攻防の作戦を工夫して、ラリーが続く楽しさを味わう。

### (2) 具体の評価規準

観 点	具体的な評価規準		Cと判断される生徒への 対応・支援
	A(十分満足できる)	B(おおむね満足できる)	
関 心 意 欲 態 度	チームメイトの持っている力を発揮させるよう励ましながら練習やゲームを進め、皆が楽しめるよう声を出し進んで取り組む。	施設・設備の安全や用具の管理をする。危険なプレーをしないで練習やゲームをするなど、健康・安全に留意しようとする。	失敗してもチームメイトが励ましたり、カバーできるようにし、肯定的な人間関係になるように支援する。
技 能 表 現	チームの課題解決に向け、ローテーションやフォーメーションについて工夫する。	課題の解決に向け、具体的な言葉かけや確認を行う。	チーム毎に教え合いをする。

### (3) 指導の構想

- ・ネットの高さは205cmとし、スパイクがしやすいようにする。
- ・アタックが決まったら、ハイタッチや走り回って喜ぶような表現ができるようになることを目標とする。
- ・チーム内でお互いに声を出し合い、励ましや賞賛の声が出て、明るい雰囲気での活動できるようにさせる。
- ・チーム練習カードには、練習内容等を提示し、生徒に考えるヒントを与える。
- ・タイマーを用い、生徒が時間の目安を持って活動できるようにさせる。

(4) 展 開

段階	学 習 内 容	学 習 活 動 表現の場	指導上の留意点 評価 表現方法の工夫・手立て
導入  10分	1 整列、挨拶、ジョギング、体操、ストレッチ 2 点呼、健康観察 3 既習事項の確認 4 課題設定  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">             習熟した技能や態度の高まりに応じて、攻防の作戦を工夫して、ラリーが続く楽しさを味わう。           </div>	1 班毎に整列する。他は全体で一斉指導 2 欠席・見学者を確認する。 3 前時を振り返る。 4 班毎に考えて、発表する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・健康観察をする。</li>   <li>前時の内容を想起し、発言しているか。</li>   <li>新たな課題を見つけることができるようにするために学習シートに自分の考えを記入させる。</li>   <li>資料を参考に班で学習計画を立てる。</li> </ul>
展開  35分	5 チーム練習  6 ゲーム	5 資料を参考にチームで練習をする。 ポジションを意識しながらチームで練習する。  6 レシーブ トス スパイクを意識してプレーする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ゲームを通して、高まった自分やチームの今の力を知る。</li> <li>・個人的技能と集団的技能の基本や応用について知る。</li> <li>・攻防の作戦や相手チームに応じた練習を工夫する。                互いに声を掛け合い協力してプレーをしているか。</li> <li>・新たな課題を見つけることができるようにする。</li> <li>・課題解決のための練習を行う。                チームにおける自分の役割を自覚して、責任を果たしたり、教え合ったりして、互いに協力しながら、進んでゲームをしようとする。                互いに声を掛け合いプレーをしているか。                言葉かけや確認を具体的に行う。</li> </ul>
終末  5分	7 自己評価  8 発表	7 自己評価を行う。  8 相互評価を行う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習シートを使い自己評価を行う。</li> <li>パス・トス・スパイクなどを使ってラリーを楽しむことができたか。</li> <li>互いに声を掛け合い協力して学習できたか。</li> <li>チームで練習しチームワークや技能を高められたか。</li> <li>チームの課題が達成できたか。</li> </ul>